

1. 件名：新規基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【266】
2. 日時：令和2年7月17日 10時00分～17時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、岸野主任安全審査官、津金主任安全審査官、  
羽場崎主任安全審査官、三浦主任安全審査官、宇田川安全審査官、  
小野安全審査専門職、服部安全審査専門職、堀野技術参与、  
山浦技術参与

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 機器耐震技術GM 他10名※

## 5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性及び強度に関する説明書について、令和2年7月9日、7月13日、7月15日及び7月16日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

### 【火災防護設備の耐震計算の方針】

- 「5. 4. 5 消火配管の計算方法」及び「6. 5 消火配管」について、電源盤・制御盤消火設備及びケーブルトレイ消火設備の耐震計算は機能維持評価用加速度と機能確認済加速度との比較により行う理由を整理して説明すること。

### 【消火配管の耐震計算書】

- 「4. 2. 4 動的機能の評価結果」に示される「電源盤・制御盤消火設備」及び「ケーブルトレイ消火設備」の機能維持評価結果について、機能維持評価用加速度と機能維持確認済加速度の建屋内設置高さの考え方を整理して説明すること。また、評価対象は動的機器ではないため、タイトルを「4. 2. 4 機能維持評価結果」等に修正すること。

### 【電源盤・制御盤消火設備のうち配管の加振試験について】

- 試験体の詳細について、実機模擬の考え方を含め、図、写真等を用いて説明すること。

**【ケーブルトレイ消火設備のうち配管の加振試験について】**

- 試験体の詳細について、実機模擬の考え方を含め、図、写真等を用いて説明すること。

**【管の耐震性についての計算書】**

- x方向及びz方向に卓越する7次と9次モード図について、整理して説明すること。

**【浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料】**

- 「フラップゲート開、水なしの加振試験」及び「フラップゲート閉、加圧水ありの加振試験」について、試験体外観図、試験条件、試験結果、判定基準等を整理して説明すること。

**【貫通部止水処置の耐震性についての計算書】**

- 「5. 4 設計地震力」に示される「(1) モルタル」、「(2) 鉄板」、「(3) フラップゲート」及び「(4) ケーブルトレイ金属ボックス」の設計震度について、「設計床応答曲線の全周期帯の最大値」、「貫通部の固有周期に対応した加速度」及び「最大応答加速度の1. 2倍」の中から選定する考え方を整理して説明すること。

**【浸水防護施設の耐震計算結果】**

- 「表2-1 耐震評価条件整理一覧表」に示される耐震重要度分類Bクラスの設備について、S<sub>s</sub>機能維持する設計方針であることを整理して説明すること。

**【水平2方向及び鉛直方向の組合せに関する検討について】**

- 原子炉建屋と連成された質点系モデルによる耐震評価対象設備を水平2方向及び鉛直方向の組合せ影響評価の対象外としていることについて、ダイヤフラムフロアを介した原子炉建屋からの地震入力を考慮した影響評価結果を整理して説明すること。
- 「4. 2 詳細検討結果」について、検討に用いた床応答曲線等の詳細を説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他  
なし